

< 壱岐圏域介護人材育成・確保対策地域連絡協議会 様 >

上映日：2017/12/13(水) 場所：勝本文化センター(長崎県壱岐市)



実行委員会のみなさんと、壱岐市の中学生・高校生



「島全体がパワースポット」と言われる、海に囲まれた壱岐島



実行委員長の鬼塚さんと山国プロデューサーのトーク

学生からの感想全てにやってよかったと感じています。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

地域連絡協議会の会議にて「壱岐介護フェス2017」の集客をするためのメインをと考えた際、以前介護福祉士会の全国大会で上映されたこの映画を推薦しました。「壱岐介護フェス2017」での上映後、映画を観た学校の先生から生徒に見せたいとの要望があり、中学校、高校の生徒に鑑賞してもらうことになりました。市内の中高校生への上映会はこの日以外にも計3回実施しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

特養・老健・グループホーム・社協・訪問介護・通所介護・市の包括支援センター・高校・ハローワークの職員と連絡協議会のコーディネーターです。

●協力の得られた団体はありましたか？

後援は壱岐市です。協議会の会長が市長に会って話を行い、申請書の提出をしました。協力としては、当日開会に対しての挨拶をして頂きました。

●資金はどのように捻出しましたか？

圏域に県より200万円の補助金があり予算書等作成し全額補助を受けました。

●地域へどのように告知をしましたか？

ポスターを事業所や商店、交通機関等に掲示してもらえるように実行委員がお願いしました。市の放送や広報誌の記載なども活用しました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

「感動しました。」「考えさせてもらいました。」の声があり「もっと見たい、家族にも見せたい。」と言われる人もおられました。映画を通じて介護を知ってもらう事が出来て良かったと思いました。特に学生からの感想全てにやってよかったと感じています。山国プロデューサー宛の高校生のメール(※)には、未来は大丈夫だと心より感動しています。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

どの立場からでも何回でも観ることの出来る映画だと思います。多くの人に見てもらえる様に広報を行って欲しいです。

(※)山国プロデューサー宛に高校生から届いたメール(一部抜粋)
「私も春には卒業です。またこうして皆と映画を観る機会なんて、きつくないと思います。でも続編が出たら、また皆集まって、泣き顔を笑い合ったり、印象に残った場面を話し合ったりしたいです。皆とケアニンが観られて良かった」

ご担当者：二見 都世 さん

壱岐圏域介護人材育成・確保対策地域連絡協議会

<http://icf2017.strikingly.com/>

県内各圏域において、介護人材育成・確保に取り組み、課題の共有や解決に向けた対応策の検討、連携した研修、相談体制の整備、環境改善などの取り組みを行う。